

第2回 町会なんでもおしゃべりサロン開催記録 ～Aグループ（概要版）～

開催日時：令和5年7月1日（土）午前10時から正午 開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム Aグループ：町会長・役員 6名
--

○会計について

- 町会費について。
（具体的な町会費を示しながら、住民から「高い」との意見が寄せられている。）
- 町会費に負担金や寄付を上乗せしているため、町会費が高いとの意見をもらうのでは。（募金は別に集金している町会もあった）
- コロナ禍で町会費が余った際の、住民に対する還元の事例について。
（例：緑のごみ袋、透明のごみ袋、マスクを全世帯へ配付した など）
- 会計は会計役に任せきりではなく、皆でチェックすることが大切。

○情報発信について

- 町会長が多忙のため、「町会だより」を作成できない。
- お年寄りからは、町会でどんな活動をしているか知りたい、教えて欲しいという声もある。
- 町会毎に「町会だより」作成の頻度を示しながら、目につきやすくするための工夫について。
（写真を積極的に掲載する、カラー印刷にする、色紙に印刷するなど）

○世帯台帳の作成について

- 作成の目的を伝えて情報を集めている。ホームに入居の際は必ず町会に連絡するように総会で周知している。
- 昔作ったが、更新していない。

○役員について

- 役員会開催の頻度について。
- 役員に適した人がいるが、どのようにアプローチしたらよいのか。

○役員同士の連絡手段

- グループLINE、ショートメール。
- グループLINEは便利だが、用途によって電話や直接会うなど、使い分けられている。
- スマホについていけない。

○役員手当について

- 町会長、役員のほか「広報配達係」「集会所の開け閉めや掃除係」などへ支給している。

○引継ぎ書について

- 引継ぎ書が作成されている町会もあり。
- 町会長になった時、地区連などの聞いていない役職を充てられ困惑した。若い人が町会長などの役員になっても困らないように、引継ぎ書（特に充てられる役職等）を作成しておくべき。

第2回 町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

～Bグループ（概要版）～

開催日時：令和5年7月1日（土）午前10時から正午

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

Bグループ：町会長・役員 6名

○町会の担い手について

- ・町会に関わっていない人へ、急に役員をお願いしても出来るはずがない。
- ・人材をどう発掘するか…。会合かなと思っている。
- ・町会の若い人達に、ねぶた運行、餅つきなどの行事を任せている。その若い人達は、いずれ町会の担い手になってもらえると期待している。

○町会活動について

- ・町会活動は「年寄の集まり」というイメージが伝統的にある。
若い人を取り込むために、子供達と一緒に何か出来ないか、悩んでいる。
- ・若い世代はLINEグループを活用して行事開催の連絡を取り合っている。
一度に情報共有できるため、とても便利。
- ・夏祭りについて。（盛岡で体験した住民の参加率が高かった夏祭りの事例など）
- ・夏祭りはある意味、町会費の還元のため、安く楽しめるようにしている。
- ・総会の資料について。（毎戸配付や回覧して町会費の用途を明確に公開）

○自慢できる取組みについて

- ・ある役員が、町会から発出した文書や資料（会計関係）を何年分も保存しており、大変助かった。
- ・町会によっては、激励金（全国大会出場など）、出産祝金、入学祝金を支給している。

○町会運営（その他）について

- 広報ひろさきの配布や回覧板について。

（配付方法や回覧拒否者への対応など）

- 町会組織がはっきりしていなかったため、整理した事例について。
- 班長会議を増やし、情報提供してもらう場を作った。
- 町会加入の勧誘の際に、加入案内チラシと町会費の収支決算書を持参し、町会費の用途について説明している。
- 各町会の町会費について。
- 世帯台帳について。

（作成する目的をきちんと説明して上で、新しい住宅が建ったところを回って集めている。今まで拒否されたことはない。）

第2回 町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

～Cグループ（概要版）～

開催日時：令和5年7月1日（土）午前10時から正午

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

Cグループ：町会長・役員 6名

○町会役員のなり手について

- 副町会長に女性を起用している事例について。女性の町会長も考えてみては。
- 役員が特定の年代に集中しないように、業務によって年代を使い分けるように検討中。（例えば、民生委員は若い人よりも50～60歳代）
- お祭りの手伝いをしてきた若いメンバーの中から、今では町会役員や民生委員を担う人が出ている。催しがあれば、その準備をする人達の繋がりで、人材が育っている。
- 町会長に業務が集中して多忙であることも、なり手がいない原因のひとつ。周囲で分担して、町会長の負担軽減をすることも必要。

○地域の居場所づくりについて

- 年配者向けにランチ会を開催して、皆が集まる機会を設けた。特に一人暮らしの人にはとても喜ばれ、そういう場は必要だと思った。
- 町会と老人会の総会を合同で行い、費用も折半している。
- 集会所を持たない町会の代替施設について。（送迎付きで、賃料が安いなど、お勧めの施設をいくつか提示）

○自慢の取組みについて

- 集会所に月1～2回集まって、「健康体操」「筋トレ」などを、それぞれ行っている。（複数町会）

- 市から除雪機を借りて、町内の除雪をしている。操作が分からない人には、集会所の除雪と一緒にやりながら教えている。
- 除雪機を所有している人は、周囲も除雪していて、それらが繋がって町内がきれいに除雪されている。